

令和8年度「葛飾区子ども会議」の実施状況について (中間報告)

1 実施目的

「葛飾区子どもの権利条例」の趣旨を踏まえ、子どもが身近な課題について意見を表明し、対話を通じて提案としてまとめる機会として実施した。また、区が提案を受け止め、検討結果を子どもへフィードバックすることを重視している。

2 実施概要

項 目	内 容
対象	区内在住・在学の小学5年生から中学3年生まで 募集方法：保護者向けアプリ（C4th）、広報かつしか、区公式SNS
テーマ	みんなの学校をより良くするために、生徒会や児童会でやりたいこと
第1回	令和8年7月28日（火）「まずは自由に話し合おう」
第2回	令和8年8月5日（水）「みんなの提案を形にしよう」
主な内容	子どもの権利についての学習、テーマ説明、班別の話し合い、提案の取りまとめ
実施体制	教育指導課と子育て政策課が連携。各班に大学生ファシリテーターを配置

3 子どもの意見表明の機会の確保

少人数の班で自由に意見を出せるようにした。大学生ファシリテーターが話し合いを支援し、一人ひとりの意見を聞き合った上で、各班の提案としてまとめた。また、大人に求めるだけでなく、「自分たちができること」も考えた。



第1回の様子



第2回の様子

4 子ども委員からの主な提案

班	提案のテーマ	主な内容
1班	みんなの意見を聞いてルールを作ろう	意見箱の設置、クラス会や代表委員会での話し合い
2班	みんなが安心できる教室にすること	人の相性への配慮、自分たちでメリハリをつけること、一人ひとりを大切にすること
3班	学校の設備と校則	校内清掃の充実とバリアフリー化、校則について議論する場・意見箱の設置

5 参加後アンケート結果（概要）

有効回答数 16 件、自由記述回答者数 13 人、自由記述総件数 50 件

主な項目	肯定率
内容は分かりやすかった	81.3%
学校について深く考えられた	81.3%
他の人の意見で新しい発見があった	81.3%
自分の意見を話しやすかった	87.5%
グループで参加しやすかった	86.7%
説明・サポートは分かりやすかった	93.3%
意見を伝えることは大切だと思う	80.0%
自分たちの意見が学校や地域に役立つと思う	75.0%
今後も考えたり意見を伝えたりしたい	81.3%
参加してよかった	87.5%

※肯定率は 5 段階評価の上位 2 段階の合計

自由記述では、印象に残ったこととして「自分の意見を言えたから」「自分のずっと思っていた意見がいえたから」「皆と話すといろいろな意見が出た」などの回答があり、子どもが自分の考えを伝え、他者の意見に触れる機会となったことがうかがえた。

6 アンケートから確認できたこと

(1) 意見を表明しやすい場となったこと

「自分の意見を話しやすかった」は 87.5%、「グループで参加しやすかった」は 86.7%であり、子どもが意見を出しやすい環境がおおむね確保された。

(2) 他者の意見から学び、考えを深める機会となったこと

「他の人の意見で新しい発見があった」「学校について深く考えられた」は、いずれも 81.3%でした。自由記述でも、他校の様子や多様な意見・解決策への気づきが挙げられた。

7 子ども会議で出された意見の取扱い

教育指導課と子育て政策課が連携し、提案内容を整理し、関係部署と共有する。提案ごとに考え方や対応状況をまとめ、子ども委員へフィードバックするとともに、区公式サイトで公表する。

8 今後のスケジュール（予定）

時 期	内 容
令和 8 年 11 月以降	教育指導課と連携し、各班の提案に対する検討内容を整理
令和 9 年 2 月頃（予定）	子ども委員向けフィードバック資料を作成し、区公式サイトに掲載
令和 9 年 3 月（予定）	子どもの権利委員会で各班の発表状況を動画で紹介し、報告書により報告